令和５年度　第３回大農事組合長会議次第

【１】開会のことば

【２】あいさつ

【３】説明事項

１．行政からの連絡

２．福岡県農業共済組合からの連絡

３．営農生活課からの連絡

（１）令和５年産米について

①令和５年産水稲の概況について　・・・・・・・Ｐ１

②令和５年産米概算金振込・検査格付通知書配布のお願い・・・Ｐ１

③令和５年産　米集荷・検査実績表(主要品種)・・・・・・・・Ｐ２

④レンタルパレットの返却について　・・・・・・・・Ｐ３

⑤令和５年産米の出荷について　・・・・・・・Ｐ３

（２）令和６年産米について

①令和６年度　ＪＡ直鞍の喜ばれる米づくり運動方針・・・・・Ｐ４

②令和６年産　水稲品種別作付誘導方針　・・・・・・・Ｐ４

③令和６年産　稲作ごよみの変更点について　・・・・・・・Ｐ５

（３）「アグリ土づくりセンター」の堆肥利用について　・・・・・・・Ｐ６・７

（４）令和５年度賦課金の徴収報告について

令和５年１１月２７日に引き落としさせていただきました。

（５）令和５年度農事組合長手当の振込について

令和５年１２月末頃にお振込みをさせていただきます。

（６）「日本農業新聞」・「家の光」のご購読について　・・・・・・・Ｐ８・９

４．経済農機課からの連絡　（別冊）

（１）令和６年度　水稲病害虫防除剤及び除草剤の使用方法について・・Ｐ１

（２）令和６年産　水稲育苗申込書　・・・・・・・Ｐ２

（３）令和６年産　水稲種子・肥料・農薬、除草剤、土壌改良材注文書、

及び令和５年度　果樹苗木の注文書・・・・・・Ｐ３～Ｐ８

開催日時及び場所

日時		対象地区	会場
１２月２０日（水）	午前１０時００分	直方・小竹地区	本所
		鞍手地区	鞍手支所
	午後　１時３０分	宮田地区	宮田支所
		若宮地区	若宮支所

５．企画リスク室からの連絡

（１）今後の組織体制の見直しに関する組合員説明会の開催について・・・・・・・Ｐ１０

６．その他

【４】閉会のことば

【提出書類】　《提出先　各グリーンセンター・営農センター》

◎令和６年産　水稲育苗注文書
◎令和６年産　水稲種子注文書
◎令和６年産　水稲肥料予約注文書
◎令和６年産　水稲農薬（初期・中後期）注文書
◎水稲一発除草剤（大型規格）・畦畔除草剤注文書
◎土壌改良剤・家庭用果樹苗木注文書

提出締切日　：　令和６年　１月１２日（金）

（1）令和５年産米について

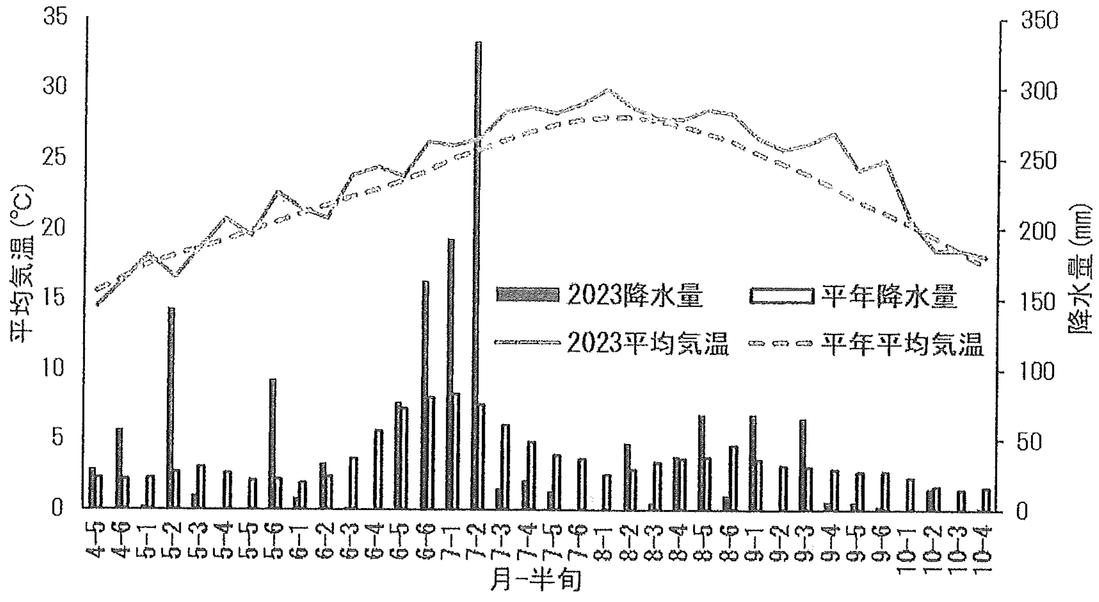
①令和５年産水稲の概況

令和５年11月16日
ＪＡ直鞍・飯塚普及指導センター

１．気象概況

生育期間中の平均気温は、一部の期間を除いて平年より高く推移し、特に７月３半旬～８月２半旬と８月５半旬～９月６半旬の期間は１～２℃高かった。

降水量は、６月６半旬～７月２半旬で多く、８月以降も断続的に降雨があった。



夏作気象概況(2023年)

２．水稲の生育概況

【早期】（～5/15）

田植えは４月10日頃から開始され、４月20日前後が中心であった。田植え後の平均気温は平年並～やや低く推移したが、その後５月６半旬以降は概ね気温が高く推移したため生育が進み、出穂期が早まり、成熟期が８月１５日前後と早かった。収量は、穂数、籾数が確保され、平年と比べやや多かった。検査等級は、登熟期が高温で推移したため、２等が中心であった。病害虫は、ウンカ類の発生は少なく、カメムシ類は散見されたが斑点米の発生は少なかった。いもち病、紋枯病も一部で発生は見られた程度であった。

【普通期】（5/16～）

田植えの最盛期は、５月２５日～６月１５日であった。田植え後は高温で推移したため、水稲の生育は順調に進み、夢つくし、元気つくしとも出穂、成熟期が早まった。収量は、６月５日頃までに田植えをした圃場では、平年並～やや多く、６月10日以降に田植えをした圃場では、梅雨時期の降雨と日照不足により茎数が確保できず、やや少なく～少なかった。検査等級は、刈遅れや充実不足により２等が中心であった。病害虫は、いもち病の発生は少なかった。夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリとも紋枯病が多発し、上位進展により一部の圃場では坪枯れが発生した。カメムシ類はヒノヒカリ、モチで多く、斑点米が発生した。

３．次年度以降の留意点

高温により紋枯病の被害が、年々大きくなっているため、生育期間中の薬剤散布の検討が必要。

②令和５年産米概算金振込・検査格付通知書配布のお願い

近年、登熟期に高温で経過しているため白未熟粒等の発生がみられ、今年の作況指数が９９と、「平年並み」の結果となりました。

つきましては、ＪＡに米を出荷いただいた方へ個別に米の概算金振込通知書及び検査結果格付通知票を同封していますので、各小組合長へ配布いただきますようお願い申し上げます。

※格付通知票は、令和５年８月～１１月の検査分を同封しています。

以上

ご質問・お問合せは下記まで
ＪＡ直鞍　営農センター
ＴＥＬ　３２－３７５５
担　当　　稲垣、浦邉

③令和5年産　米集荷・検査実績表（主要品種）

2023年12月12日　現在

JA米・加工米集荷実績

単位：俵

	品種	コシヒカリ				夢つくし				元気つくし				ヒノヒカリ				その他うるち米				ヒヨクモチ				合　計
	等級	1等	2等	3等	小計	1等	2等	3等	小計	1等	2等	3等	小計	1等	2等	3等	小計	1等	2等	3等	小計	1等	2等	3等	小計	
JA米	R4年		165.5		165.5	1,920.0	22,373.0	3,993.0	28,286.0	2,561.0	2,097.0	112.5	4,770.5	646.0	2,381.5	142.0	3,169.5	30.0	276.5	161.0	467.5		42.0	70.0	112.0	36,971.0
	R5年		72.5		72.5	1,042.0	25,173.0	2,307.5	28,522.5	475.0	3,859.5	97.5	4,432.0		1,786.5	877.0	2,663.5	99.5	267.5		367.0		33.5	165.0	198.5	36,256.0
加工米	R4年						33.0	49.0	82.0					41.5	92.5		134.0									216.0
	R5年						32.5	21.0	53.5		37.0		37.0		7.0	88.0	95.0									185.5
合計	R4年		165.5		165.5	1,920.0	22,406.0	4,042.0	28,368.0	2,561.0	2,097.0	112.5	4,770.5	687.5	2,474.0	142.0	3,303.5	30.0	276.5	161.0	467.5		42.0	70.0	112.0	37,187.0
	R5年		72.5		72.5	1,042.0	25,205.5	2,328.5	28,576.0	475.0	3,896.5	97.5	4,469.0		1,793.5	965.0	2,758.5	99.5	267.5		367.0		33.5	165.0	198.5	36,441.5
	1等米比率	0%				4%				11%				0%				27%				0%				4%

JA米・加工米支所別出荷数量

支所名	頓野支所				新入支所				宮田支所				若宮支所				鞍手支所				合計			
年産　等級	1等	2等	3等	小計	1等	2等	3等	小計	1等	2等	3等	小計	1等	2等	3等	小計	1等	2等	3等	小計	1等	2等	3等	小計
R4年	163.5	1,079.5	206.0	1,449.0	509.5	3,229.0	166.5	3,905.0	1,037.5	6,113.0	1,039.0	8,189.5	2,848.0	7,610.5	841.0	11,299.5	640.0	9,429.0	2,275.0	12,344.0	5,198.5	27,461.0	4,527.5	37,187.0
R5年		1,030.5	338.5	1,369.0	295.0	2,986.5	267.5	3,549.0	214.0	6,897.5	720.5	7,832.0	342.5	10,579.0	846.5	11,768.0	765.0	9,775.5	1,383.0	11,923.5	1,616.5	31,269.0	3,556.0	36,441.5
前年比				95%				91%				96%				104%				97%				98%

主な格付理由
・皮部の厚薄
・充実度
・心白粒

④レンタルパレットの返却について

令和５年産の米入庫時に貸出致しましたレンタルパレット（ＵＰＲ）木製１３型の返却が遅れております。

レンタルパレットのリース料は、１か月１枚当たり約２７０円の経費が掛かっております。各倉庫において返却・出庫・はい付け等でパレット数量が集まり次第、随時返却しておりますので、まだご返却がお済みでない方は、営農センターまで至急ご連絡の上、ご返却して頂きますようよろしくお願い致します。

尚、破損・紛失については、１枚当たり５，０００円頂く場合がございます。

ご連絡先	
営農センター	０９４９－３２－３７５５
担　当	稲垣・浦邊

⑤令和５年産米の出荷について

予定していました令和５年産米の入庫については、おかげをもちまして全て終了致しました。これより販売に向け準備を進めてまいりますが、これから出荷を検討されている方は、令和５年産米の出荷の期日を下記のとおりとさせていただきますので、期日までに出荷されるようお願いいたします。なお、期日以降の出荷については可能ですが、共同計算には含めずに都度販売を行います。現在通知しております概算金価格での支払いは致しませんので、出荷の都度販売を行った精算金のみの支払いとなります。

記

１．出荷期日　　令和５年１２月２９日（金）まで

２．概算金　　期限内の出荷分は現在通知している概算金での支払い

３．期限以降の出荷　　出荷は可能ですが都度販売を行うので、
金額、支払時期については未定で精算金のみの支払い

以　上

ご質問・お問合せは下記まで
ＪＡ直鞍　営農センター
ＴＥＬ　３２－３７５５
担　当　稲垣、浦邊

（2）令和６年産米について

①令和６年度　ＪＡ直鞍の喜ばれる米づくり運動方針

１．目　的

近年、人口の減少や生活様式の変化、食の外部化・簡便化・多様化等の影響によって、国内の米の需要は大きく低下している。国民一人当たりの米の年間消費量は、昭和３７年の１１８．３kgをピークに一貫して減少傾向にあり、令和３年度は５１．５kgと半数以下となっている。外食需要が回復傾向にあるが、買い取り価格は依然として低水準となっており、担い手の経営や新規就農者の確保も厳しくなってきている。

このような状況を踏まえ、米価格の下落に対応するには、土づくりおよび水管理、病害虫防除等を的確に行い、収量の引き上げを目指す事が重要になる。また、消費減少の対策として、適期播種や栽培管理を徹底して品質の向上に取り組み、直鞍地域の米に対する付加価値を高める必要がある。以上を踏まえ、ＪＡと生産者が一体になって展開していくため、下記の重点項目を遵守する。

２．重点項目

①種子更新	１００％
②品質の向上	１等米比率７０％以上
③田植日	6月１０日以降（高温障害対策）
④玄米水分	目標　１４．５％
⑤ふるい目	１．８５㎜以上
⑥全量集荷の推進	目標　４０，０００俵
⑦生産履歴（100%提出）	全生産者への記帳の徹底（常時開示可能）

３．重点方針

１）おいしい米づくり
- ①適地適作を基本とした県育成良食味品種の生産推進
- ②実需者の需要に応じた作付誘導の推進
- ③食味分析の活用とそれに基づく栽培指導の徹底（玄米タンパク質含有率６．８％以下）
- ④県育成高温耐性品種の導入検討

２）安全・安心な米づくり
- ①生産履歴の全生産者による記帳と情報提供
- ②適期防除による農薬使用回数の低減
- ③農薬の飛散防止（ドリフト）
- ④残留農薬検査の実施

３）品質向上と作柄安定
- ①高温耐性品種の作付による収量・品質の向上
- ②適期移植や適正施肥による高温障害の回避
- ③いもち病、ウンカ類等病害虫に対する持続効果の高い箱施薬の使用

４）ＪＡ米の要件
- ①品種が確認できた種子により生産した米穀
- ②登録検査機関で農産物検査を受検した米穀
- ③生産基準に基づき栽培され、栽培履歴記帳を確認した米穀

②令和６年産　水稲品種別作付誘導方針

１．極早生品種

【コシヒカリ】

直鞍米及び減減米の契約栽培として、直売所で有利販売して行く上で重要な品種であり、地域で団地化を行う。

【夢つくし】

直鞍で最も多く作付されている良食味品種で、消費者の評価も高い品種であるが、いもち病に弱いため栽培技術の徹底を行い適期防除に努める。

また、極端な早植えは品質（心白等）・食味が低下する恐れがあるため、早期栽培や早植えは抑制する。

２．早生品種

【元気つくし】

良食味品種であり、登熟期間中の高温条件下でも品質低下が少ない。田植えは６月中旬以降とし、いもち病に弱いため適期防除に努めながら、ブランドの定着を図り、需要に応じた作付けを行う。

３．中生品種

【ヒノヒカリ】

平坦地での移植時期は、登熟期の高温障害対策として６月中旬以降の田植えとし、土壌の肥沃度に応じて適切な施肥を行う。

【実りつくし】

ヒノヒカリよりも良食味品種で、登熟期間中の高温条件下でも品質低下が少なく、安定多収栽培技術の確立に努める。しかし、いもち病に弱く、成熟期もヒノヒカリと比較して７日～１０日程度遅い。

［ＪＡ直鞍　水稲品種別作付誘導目標］　（単位／ｈａ）

年度／品種名	令和４年度 実績	令和５年度 実績	令和６年度 誘導	令和７年度 計画
コシヒカリ	6	7	5	5
夢つくし	1,368	1,305	1,310	1,310
元気つくし	233	216	225	230
ヒノヒカリ	234	185	185	190
実りつくし	15	16	16	20
他品種	48	55	43	29
モチ	19	18	18	18
合　計	1,923	1,802	1,802	1,802

（上記表以外に、飼料用米・飼料用稲・米粉・醸造用米等で１７４ha作付けあり）
（※作付面積は、農業共済のデータを参照）

③令和６年産　稲作ごよみの変更点について

基肥一発肥料が新しくＪコート2000とトリプルエムコート2700に代わります。また、病害虫防除剤では紋枯病対策として、モンガリット粒剤に代わりオリブライト250Gを採用しました。

１．基肥一発肥料

【旧】		【新】
夢つくし		夢つくし
エムコート2000 (20kg) 計量型エムコート2220 (15kg)	➡	Ｊコート2000 (15kg) トリプルエムコート2700 (15kg)
元気つくし・ヒノヒカリ		元気つくし・ヒノヒカリ
エムコート2000（中生）(20kg)	➡	Ｊコート2000（中稲）(15kg) トリプルエムコート2700（中生）(15kg)

Ｊコート2000
Ｊコート2000（中稲）
➡ プラスチック使用量を削減し、溶出完了後の被膜は短期間で崩壊するため、被膜殻が水面へ浮上しにくくなり、圃場外流出の抑制が期待できます。

トリプルエムコート2700
トリプルエムコート2700（中生）
➡ 高チッソ成分のため肥料の利用率が高く、Ｊコートと比較すると減肥が可能となります。

２．病害虫防除剤（紋枯病対策）

【旧　剤】		【新　剤】
モンガリット粒剤	➡	オリブライト250G

・オリブライト250Gを採用　出穂10日前まで、但し収穫45日前まで

10a当たりの使用量が250gで、旧剤と比較すると散布量が少量になっております。また、オリブライト250Gは豆つぶ剤なので、畦畔からの投げ込みが可能なため、散布時の負担軽減が期待できます。

水面浮遊型の自己拡散剤で、水面浮遊しながら速やかに崩壊、分散し、有効成分が広く均一に拡散するため、安定した防除効果を発揮します。また、旧剤よりも散布適期幅が広いため、使いやすい薬剤となっております。

(6)「アグリ土づくりセンター」の堆肥利用について

いつもアグリ土づくりセンターの牛ふん堆肥をご利用いただきありがとうございます。

さて、ＪＡ直鞍では地力低下に伴い水稲、麦、大豆など土地利用型作物の収量が低下している事から、収量の安定をはかるため堆肥や土壌改良材を投入する事を奨めています。

ＪＡ直鞍の「アグリ土づくりセンター」が製造する「堆肥」は良質な堆肥として管内・管外からも評価をいただいております。

土壌という大切な資産を守るには、やはり土作りが基本です。
土作りは、良質な有機質の投入が欠かせません。
是非、みなさまにアグリ土づくりセンターの堆肥をご活用下さい。
そして、土作りを基本とした農業を実践して下さい。

「健全な土壌には健全な作物が育つ」

「アグリ土づくりセンター」は、堆肥による土作りを通して、みなさまの大切な資産である土壌の健康づくりをお手伝いいたします。
又、この程アグリ土づくりセンターでは新しいパンフレットを作成しております。

①アグリ土づくりセンターが目指すもの
②利用者の声
③堆肥の製造工程図
④価格一覧表

上記等を掲載しておりますのでご覧下さい。

堆肥のご注文に関しては直接「アグリ土づくりセンター」または各グリーンセンターに申込書を準備しておりますので宜しくお願いします。

アグリ土づくりセンター　電話番号　４３－１１７５
住　　所　鞍手町室木１８９番地１

◎堆肥価格一覧表

基準日:令和3年11月1日

種類	区分	容量	価格(税込)	備考
水田用堆肥	直取り	1トン	3,500円	
		軽トラ	1,000円	
	配達のみ	2トン	8,000円	
	配達・散布	2トン	1ha以上 9,500円 3ha以上 9,000円	
園芸用堆肥	直取り	1.8㎥	5,000円	
	配達のみ	3.6㎥	12,000円	

◎施肥基準量一覧表（10a当たり）

品目	堆肥量
水稲	2トン
大麦・小麦	2トン
大豆	2トン
ブロッコリー	2トン
キャベツ	4トン
ぶどう	1トン

◎堆肥分析検査データ　一般財団法人畜産環境整備機構　畜産環境技術研究所

分析日:令和3年3月15日

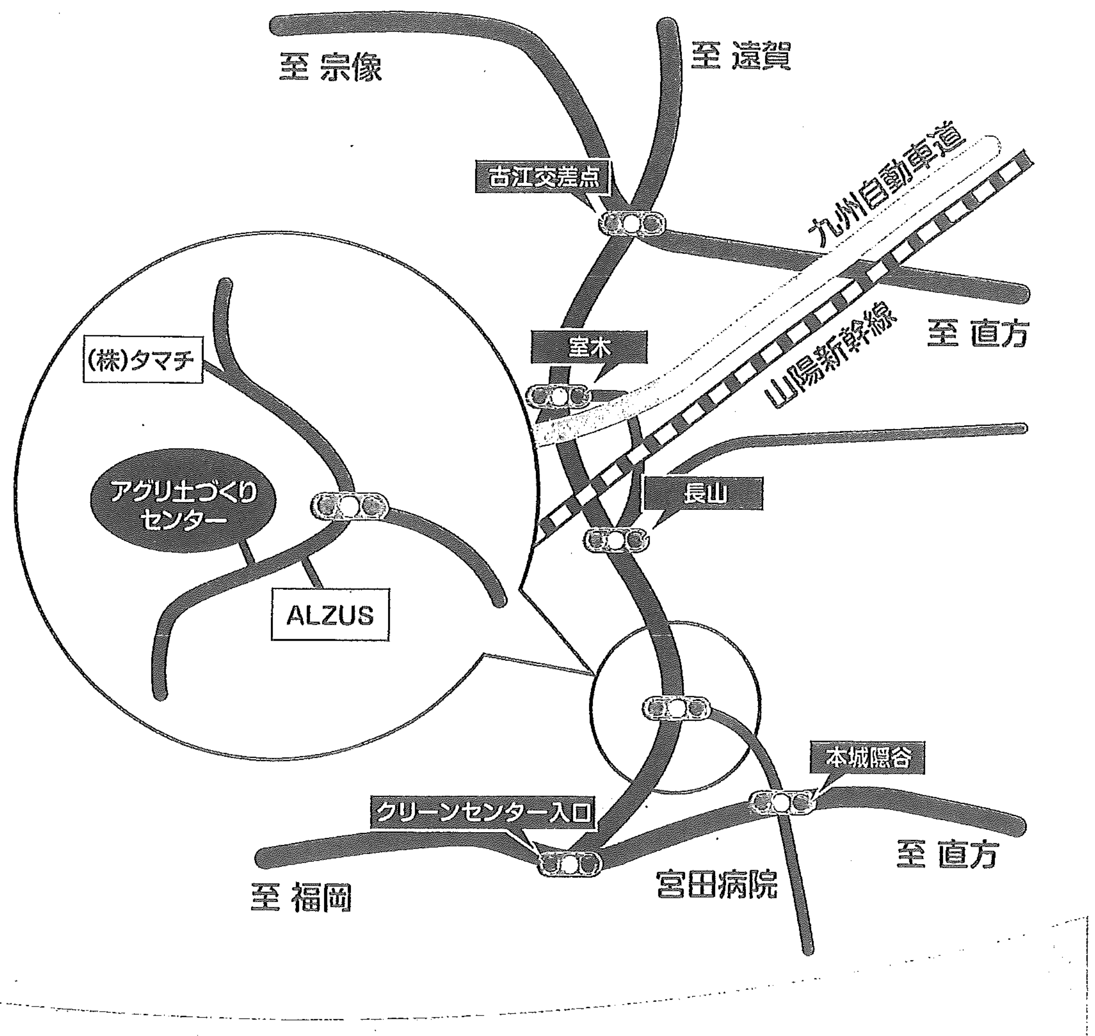
分析項目	水分	(pH)	EC(ms/cm)	窒素(%)	燐酸(%)	加里(%)	石灰(%)	苦土(%)	銅(mg/kg)	亜鉛(mg/kg)	鉄(mg/kg)	マンガン(mg/kg)
現物当り	54.3%	7.8	3.8						19	63		
乾物当り				1.9	0.9	2.6	2.9	0.9			8,800	340

JA直鞍 アグリ土づくりセンター

〒807-1307　福岡県鞍手郡
鞍手町大字室木189-1番地
TEL0949-43-1175
FAX0949-43-1176

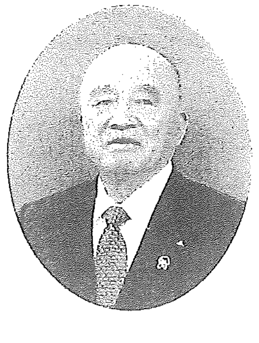
直鞍農業協同組合

〒822-0022　福岡県直方市
知古二丁目3番4号
TEL0949-24-2311
FAX0949-24-2315



JA全農ふくれん　JA共済　JAバンク

ごあいさつ



JA直鞍は、筑豊北部に位置する直方市・宮若市・鞍手町・小竹町の2市2町を管内としており、北九州、遠賀、宗像、飯塚と隣接する都市近郊型農業地帯で、水稲は県下でも良質米の産地となっております。

主要農作物は、水稲・麦・大豆・ブドウ・いちご・キャベツ・ブロッコリー・トルコギキョウ・畜産と多種多様であり、共同出荷の他、管内に6箇所ある農産物直売所施設で販売しています。

農産物の生産において、近年、化学肥料の多用や災害の多発に伴う耕作地の土壌流失などにより、良質な土壌が失われつつあります。

そのような中、農産物の安定した生産力を持続していくには、有機質肥料は欠かせないものとなっています。

「JA直鞍アグリ土づくりセンター」は、管内の畜産農家の飼育糞を副資材（バーク・もみ殻）を70℃以上に上昇させ発酵処理を行うと共に腐熟させ、高品質の堆肥として活用し、農産物の生産基盤である「土づくり」を推進しております。

それにより、利用者の皆さまからも堆肥の品質や評判が伝わり、近隣市町村の利用者も増加し大変よろこばれております。

今後も農業者の皆さまには生産の安定化、品質の向上による所得増大を、消費者の皆さまには「安全・安心」な農産物の安定供給を目指します。

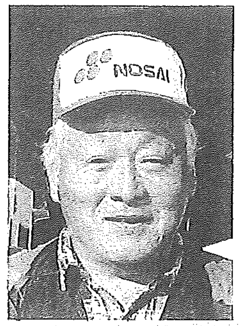
これからも「JA直鞍アグリ土づくりセンター」は関係機関と連携しながら、「土づくり」を通じた地域農業の発展に貢献してまいります。

直鞍農業協同組合
代表理事組合長　堀　勝彦

JA直鞍アグリ土づくりセンターが目指すもの

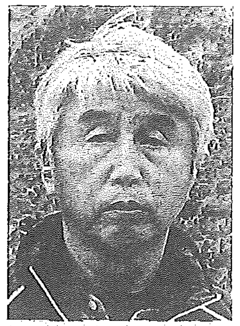
- JA直鞍アグリ土づくりセンターは、管内の畜産農家の飼育糞を堆肥化し、農地に還元する資源循環型農業の推進を通じて、持続的な開発目標（SDGs）を支援してまいります。
- 地域ぐるみの「土づくり」を推進します。
- 腐熟度の高い良質な堆肥の安定供給に努めます。
- 土壌改良効果を発揮するため、利用者へ堆肥の長期連用を推進します。
- 良質な土づくり・作物生産のための肥料設計をしやすいよう、成分の安定化に努めます。
- 低コスト生産を支援するため、価格の低減につとめます。
- 高品質で高収量の農業生産、農業者の所得増大の糧となるような堆肥づくりを目指します。

利用者の声



米麦を栽培しています。水田に毎年2トン自分で散布しております。地力が向上し米麦とも毎年安定して収量を上げることができ地力の大切さを実感しています。

小竹町　木原 剛さん

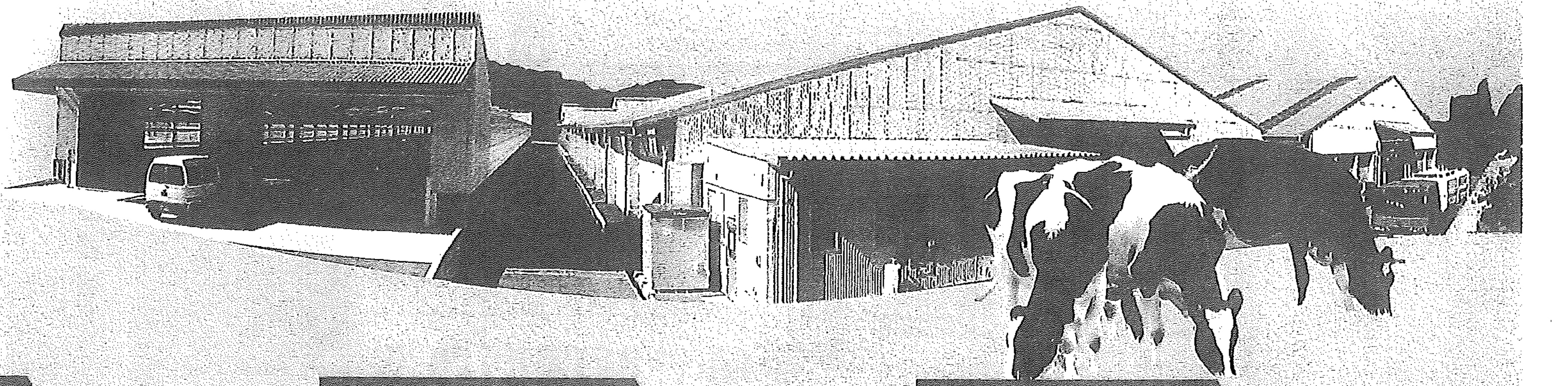


キャベツ、トウモロコシを主に栽培している。堆肥を毎年10a当たり4トン投入し続けているため土壌の団粒化が進み、土に空気の隙間ができることで、柔らかい土に、作物はしっかり根を張り、品質の良い野菜が採れる。

北九州市若松区　松浦 浩さん

堆肥製造工程図

堆肥がどのように作られているかをご紹介します。



JA直鞍アグリ土づくりセンターは、平成17年に完成した牛糞堆肥を作る施設です。
平成21年には福岡県の堆肥コンクールで最優秀賞を受賞致しました。

原料置場

①牛ふんに副資材（木材チップ）を混ぜ、水分調整を行います。

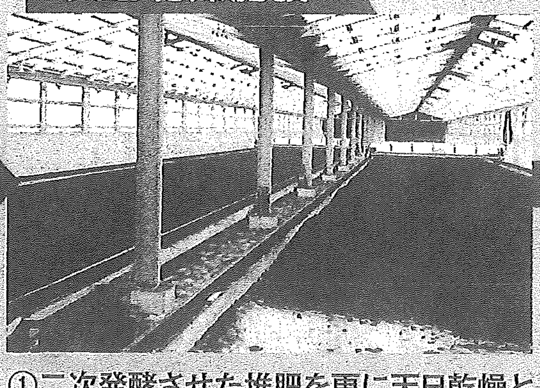
一次発酵槽

①牛ふんに酵素、アミノ酸を混合し、更に床下からエアーを吹き込むことで、堆肥の温度を70～80℃まで上昇させ、高温による発酵促進を実現しています。
②高温発酵により、雑草の種子や悪玉微生物を抑制させ、土壌環境を整えます。

二次発酵槽

①一次発酵槽より搬入された堆肥を約3ヶ月かけて更に発酵させます。
②水田用堆肥として出荷します。（水分60%以下）

天日乾燥施設



①二次発酵させた堆肥を更に天日乾燥と「ロータリー撹拌機」の切り返しにより、水分を40%以下まで乾燥させます。

製品置場

①天日乾燥させた堆肥を「ふるい機」にかけ最終調整し、園芸用堆肥を製造します。

知る、活かす、つなぐ
JAグループ
情報共有運動

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞

農業の“答え”が載っている!

知りたいことを、知りたいときに、知りたい形で読めるよう、
オンデマンド型の報道に力を入れます。

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞
〒110-8722
東京都台東区秋葉原2-3
https://www.agrinews.co.jp/

重点報道・刷新

「農家の特報班(のうとく)」 LINEを使ったオンデマンド型の調査報道

読者にLINE登録をしてもらい、日ごろの疑問や取材してほしいことを受け付けます。電話やはがき、手紙、メールを通じたご意見も大歓迎です。それらを受けて、記者が取材に走り、紙面や電子版での情報発信につなげます。

地域情報の発信を強化

地域に根差した情報発信を強化します。毎週月曜日付には「JA通信」面をカラー面として新設し、トップ記事はインターネット上でも拡散します。全国1,800人のJA通信員の活躍の舞台を広げます。

「GXみどり」面を新設(毎週月曜日付)

世界的に急速に高まる環境意識や時代の変化を生産現場に的確に伝えます。生産現場で着実に進んでいる最新のGX(グリーン・トランスフォーメーション)の動きを紹介。読者それぞれの「みどりの一歩」を後押しします。

営農情報を充実(毎週火～金曜日付営農面)

経営環境が厳しさを増す中で読者が求める「課題解決型」の営農情報を、カラー紙面でお届けします。

「若者(AgriZの時代)」面を新設(毎週月曜日付)

若い農業者の立場に立って、食や農、あらゆる分野で知りたいこと、聞きたいこと、伝えたいことを取材し、ビジュアル性を高めた形で表現します。

「netアグリ市況」 スマホで見やすくリニューアル

購読者は無料で見られる「netアグリ市況」を刷新し、品目別検索機能を強化しました。「お気に入り登録」すれば、見たい品目や市場の市況情報が簡単、スピーディーに見られます。

【WEBから申込】 電子版のお申し込みはWEBが簡単!

お申し込みの際は、紹介JAの登録をお願いします。本紙、または併読のお申し込みも可能です。
https://www.agrinews.co.jp/page/subscribe2

電子版の機能や使い方はこちら
https://www.agrinews.co.jp/infopage/lp/index.html

購読料1カ月(税込み)
本紙 2,623円
電子版 2,403円

✂ キリトリ線

【JAに申込】 ご記入の上、お近くのJAにお渡しください。

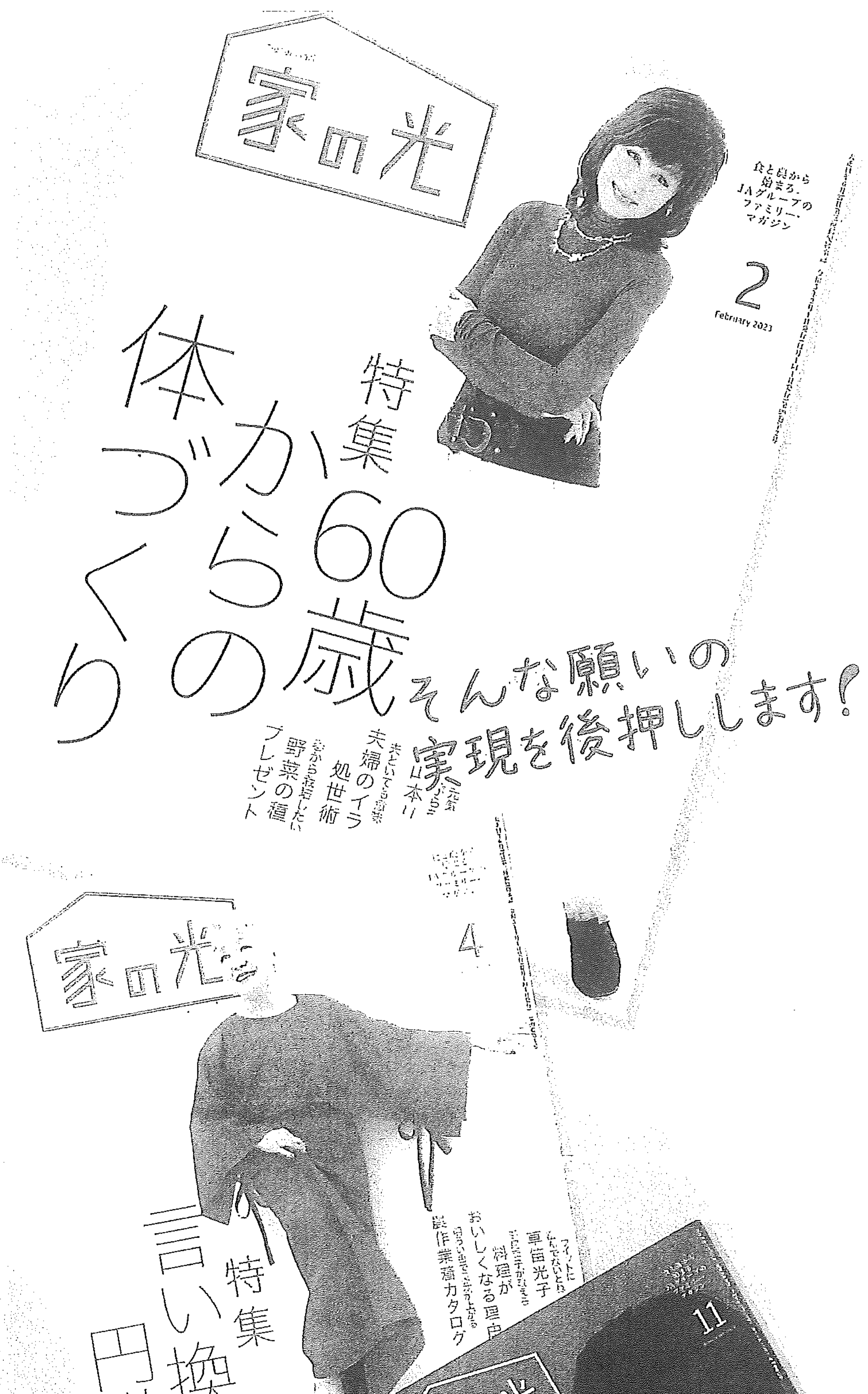
日本農業新聞 購読申込書

年　　月から購読します。

フリガナ		フリガナ	
氏名		世帯主	
フリガナ			
住所			
電話番号		取扱いJA名	JA　　支所・支店
備考			

ご希望の媒体に☑を入れてください。 □新聞本紙 □電子版 ※電子版をご希望の方は、JAの案内に沿ってお手続きください。

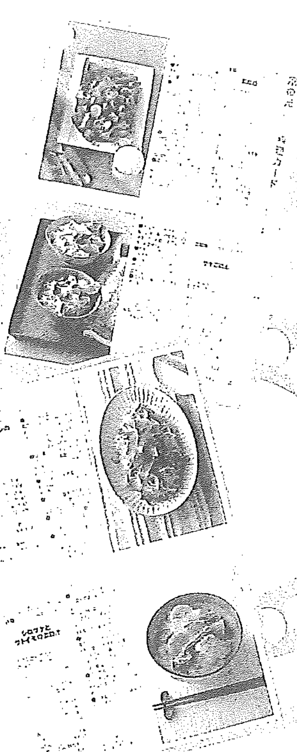
個人情報は適切に管理し、日本農業新聞の記達など購読に関する業務に利用させていただきます。



人生100年時代を
いつまでも元気で
健康に生きていたい

そんな願いの実現を後押しします!

JA女性組織の活動に!
おうち時間の充実に!



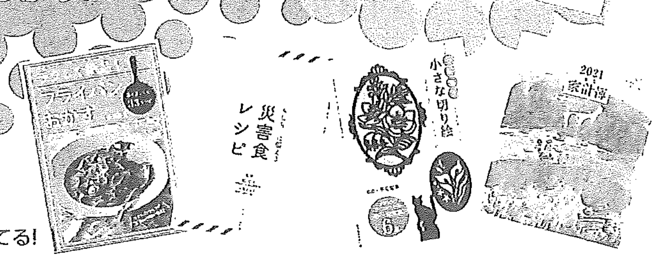
家の光を活用しよう!!

特集
新型コロナウイルス感染症関連記事も充実。

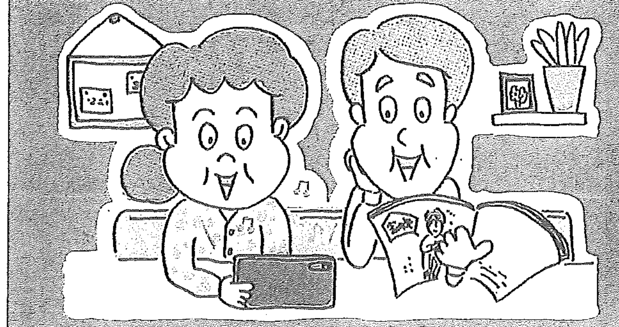
健康
運動や食事の情報をわかりやすく紹介。

料理
旬の食材を使ったごはん作りの味方!

手芸
作って楽しく、できて役立つものばかり!



年6回は別冊付録付き
健康・料理・園芸など
生活に役立つ知識が詰まってる!



『家の光』がもっと読みやすく!

家の光 YouTube ユーチューブ

YouTubeチャンネルでは、『家の光』の記事活用に役立つ動画を配信中です。

定価(税込) ●普通月号 629円 ●付録月号(1・4・5・7・9月号)922円 ●家計簿付き12月号1,027円

お申し込みはお近くのJAへ　JAグループ 家の光協会　〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11　TEL. 03-3266-9039　http://www.ienohikari.net

お申し込みはお近くの本・支店(所)へ —— JAグループ 家の光協会　〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11　TEL. 03-3266-9039　http://www.ienohikari.net

重　要

令和５年１２月２０日

正組合員　各位

直鞍農業協同組合
代表理事組合長　堀　勝彦

（１）今後の組織体制の見直しに関する組合員説明会の開催について（ご案内）

組合員の皆様におかれましては益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。
平素より当組合の事業活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、当組合では、取り巻く情勢、現状及び今後の経営環境を踏まえ、「組織体制の見直し（支所・事業所再編／役員・総代定数の見直し）」について検討を行ってまいりました。
つきましては、経過及び具体的な内容、今後の予定などをご説明させて頂くため、下記の日程で説明会を開催致しますので、ご案内申し上げます。

	日　程	対象地区	会　場	時　間
直方 小竹	１月３０日（火）	直方・小竹地区全域	本　所	１３：３０
	１月３０日（火）	頓野支所（上頓野・頓野・感田地区）		１８：００
	２月　１日（木）	頓野支所（下境・福地地区）		１８：００
	２月　２日（金）	本所・新入支所全域（小竹地区含む）		１８：００
宮若	２月　５日（月）	宮田支所全域	宮田支所	１３：３０
	２月　５日（月）	宮田支所（宮田地区）		１８：００
	２月　９日（金）	宮田支所（香井田地区）		１８：００
	２月１３日（火）	宮田支所（笠松地区）		１８：００
	２月　９日（金）	若宮支所全域	若宮支所	１３：３０
	２月１４日（水）	若宮支所（若宮地区）		１８：００
	２月１５日（木）	若宮支所（吉川・日吉地区）		１８：００
	２月１９日（月）	若宮支所（山口・中地区）		１８：００
鞍手	２月２２日（木）	鞍手支所全域	鞍手支所	１３：３０ １８：００

※地区ごとに日程を設定しておりますが、ご都合が付かない場合は、別地区への出席も可能です。
インフルエンザの流行等、状況により開催延期または中止となる場合がございますのでご了承下さい。